



DUM-DUM LLP & CHUT! / しゃっ PRESENT
ROPPONGI VARIT
GRANDOPENING PARTY

Saycet

Live in Tokyo 2016

フランス エレクトロニカの最高峰 Saycet (セイセット)が
新作「MIRAGE」をリリースしての待望の来日公演

2016.4.2 sat.

六本木 VARIT

LINE UP :

Saycet / フルカワミキ(DJ) / CRYSTAL(LIVE)

Doors:18:30 Start:19:00

Adv.: ¥ 3500 without drink DOORS: ¥ 4000 without drink

info : 六本木 VARIT TEL 03-6441-0825

TICKETS ON SALE : eplus



frecho.com/varit

Supported by



INSTITUT
FRANÇAIS



centre national
de la chanson des
variétés et du jazz

Saycet セイセツ

2006年にデビューアルバム「One Day at Home」をリリース。ピエール・ルフェブによるソロプロジェクトとして始まったSaycet。TRAX、Les Inrucksなどフランス国内のメディアで絶賛された後にフォン・ソムサヴァットをヴォーカリストとして迎え入れる。女性ヴォーカルを導入という新たな方向性を開き、2010年に「Through the Window」を完成させる。ライブには女性VJアーティストジタ・コシエが参加し、音の世界を音像化したような幻想的な空間を作り上げる。2011年には来日公演も成功し、日本のみで「One Day At Home」のDVD付き限定盤をリリースする。その後多くのイベントやツアーに出かけた後に、建築家ル・コルビュジエのユニテ・ダビタシオン(フランスではCité radieuse : 輝く都市と表記される)に訪れ影響を受けて制作した3rdアルバム「Mirage」を完成させる。近年、ドキュメンタリー映画「1.7 Billion Dollar Fraud: Full Exposure」のサウンドトラックも手掛けるなど、多岐にわたる活動を展開している。



セイセツ
『ミラーージュ』

¥2,200 + 税
PDIP-6541
2015年3月5日リリース
レーベル : p*dis
日本国内盤のみ
ボーナストラック1曲収録

東京のみなさん、こんにちは！私は、SAYCET (セイセツ) という音楽プロジェクトを展開しているピエールです。日本へ行くことは長年私の夢で、今から5年前の2011年に初めての来日ツアーを行いました。日本のポップ・カルチャー、その美意識や詩的な要素はSAYCETにとって常に創造の息吹を与え、ファーストアルバム制作の際には多大な影響を及ぼしました。今回、再び日本で公演が出来ることをとても光栄に思います。4月2日(土)に六本木Varitにて、長い旅の間に湧き上がる異なる感情のように旋律的な器楽曲を披露します。私が前回東京を訪れた時は、まるで海賊の宝物を見つけた子供のように興奮していました。東京は私にとって、とてもエネルギーに満ちていて、同時に驚くべき静寂が存在する魅力的な街です。私が感じたことを的確に表す言葉が思い浮かばない程、自身を見失いかけてきましたが、とても心地が良く、常に笑顔でいられたことを覚えています。東京

でのコンサートの時には、フランスの田舎町で行ったコンサートの時よりも多くの方が見に来てくれました。私はとても感激し、その数日間自分が世界一の幸せ者だと思っていました。この時の感情は、今になっても忘れていません。私は、あなたたちの国が大好きで、次回の滞在の際にはあなたたちのことを、そしてその文化をより深く知ることが出来るよう願っています。

共演者



フルカワミキ
1997年 SUPERCAR(B/Vo)としてデビュー。解散後2006年よりフルカワミキとしてソロ活動開始。
作詞作曲アレンジ。音楽の他、過去アートワークとコラムの連載、グループ展出展や他アーティストへのジャケットアートワーク提供、自身のMV「Dreamer」の製作も手掛けるなどもしている。また、ナレーションや

VOCALOIDに声サンプルの提供なども。他、「LAMA」やDJなど神出鬼没に活動。
4th ALBUM「Moshi Moshi, Kikoemasuka?」はWEB限定で発売。

特技:手旗信号 <http://miiikiii.com/>



CRYSTAL

三宅亮太、丸山素直、大西景太による3人組シンセサイザーバンド。2007年、myspaceの音源がJusticeのGaspard Auge、Surkinにより発掘され、彼らの運営していたInstitubesよりデビュー。

70年代後半から80年代のニューウェーブ、インダストリアル、テクノ、エレポップ、ゲームミュージックに影響を受けたサウンドで注目される。レトロ・フューチャーな音楽性と知的なユーモアが交差するビジュアルワークは主に欧州の人を喜ばせている。